

# I-4 高規格幹線道路開通対策 中部縦貫自動車道周辺エリア

## ○エリアの方向性

- ・恐竜ブランドに続く歴史遺産のブランド化(中世の宗教都市、大野城下町など)
- ・恐竜博物館を中心とした「ダイナソーバレーリゾート」の形成
- ・中部縦貫自動車道県内全線開通を機とする中京圏のものづくり産業との連携強化

## ダイナソーバレーリゾートの形成 (P38~40)

長尾山総合公園全体の魅力向上、恐竜博物館から市街地への誘客を促進

- ・野外恐竜博物館の整備
- ・ジオターミナルの整備
- ・長尾山総合公園全体の再整備
- ・恐竜博物館の機能強化
- ・恐竜バスや列車の運行
- ・ホテル(恐竜ルーム等)の改修
- ・県立大学恐竜学部(仮称)の開設 など

## 白山平泉寺の発信 (P42)

平泉寺地区において、中世の宗教都市の歴史を感じる景観を整備

- ・東尋坊跡の周辺整備
- ・越前禅定道の再整備 など

## 六呂師高原の活性化 (P43)

奥越の周遊観光拠点として、六呂師高原の自然環境を生かした誘客策の検討、高原内の施設のレベルアップ

- ・アウトドアを中心とした活性化
- ・日本一美しい星空の観光活用 など

## 化石資源の活用 (P44)

和泉地区において、化石の魅力を経験できるまちづくりを実施

- ・平成の湯の再整備
- ・中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査
- ・恐竜トリックアート及び恐竜モニュメント整備 など

## 越前おおの城下町の再生 (P43)

歴史あるまちなみの整備と商業エリアの活性化により、活気ある越前おおの城下町を再生

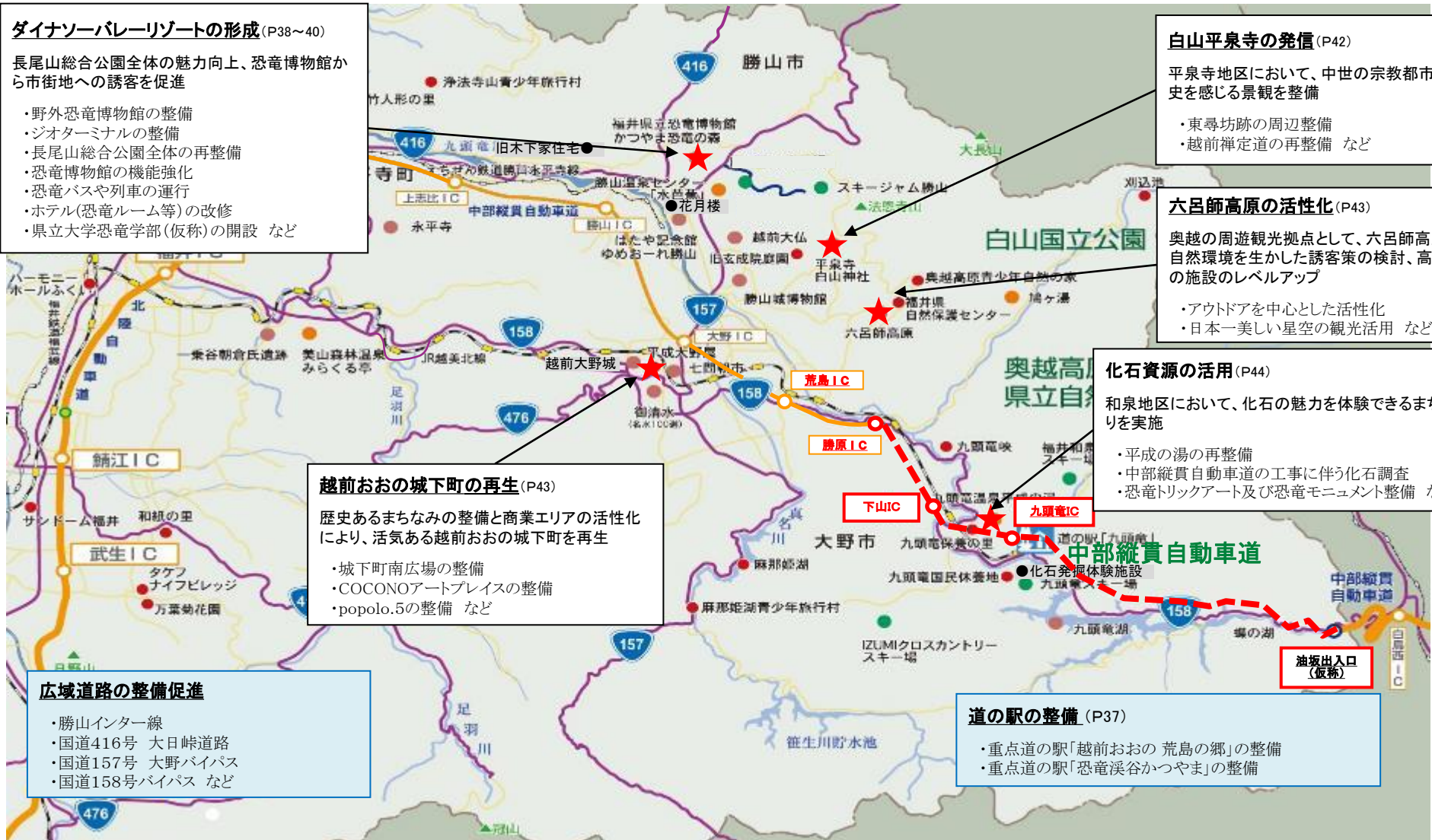
- ・城下町南広場の整備
- ・COCONOアートプレイスの整備
- ・popolo.5の整備 など

## 広域道路の整備促進

- ・勝山インター線
- ・国道416号 大日峠道路
- ・国道157号 大野バイパス
- ・国道158号バイパス など

## 道の駅の整備 (P37)

- ・重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備
- ・重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)		
勝山 I・C	勝山市 約8億円	長尾山総合公園の再整備				長尾山総合公園の再整備							
	県 約94億円						恐竜博物館の機能強化						
	県 約1億円	恐竜骨格化石の充実											
	県・勝山市 約5億円	重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備											
	県・勝山市 約0.5億円	商業エリアの 個店改修											
	勝山市 約1億円	花月楼改修											
	県 約0.7億円	越前禅定道の再整備											
	県・勝山市 約3億円	旧木下家の保存				旧木下家の公開・活用							
	県									県立大学恐竜学部(仮称)の開設			
	大野 I・C・荒島 I・C	大野市 約2億円	古民家ギャラリー「COCONOアートプレイス」の整備										
大野市 約0.4億円		越前大野城の整備											
県・大野市 約2億円		商業エリアの個店改修	popolo.5の整備			越前大野城の城内装飾							
県・大野市 約3億円		スキー体験施設の整備 うらら館の再整備	六呂師高原の再整備			うらら館木質バイオマス ボイラ導入							
県・大野市・民間						六呂師高原の活性化 に向けた調査	構想策定 計画策定 受入体制整備・魅力向上						
県・大野市 約35億円		重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備					奥越高原牧場・自然保護センターの魅力向上						
大野市 約0.3億円										日本一美しい星空を活用した誘客			
九頭竜 I・C		大野市 約2億円	化石発掘体験施設の整備										
	県 約0.03億円						パークホテル九頭竜 恐竜客室整備						
	大野市 約0.3億円						中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査						
広域	県・国	化石発掘体験センターHOROSSA! 和泉郷土資料館の施設魅力向上											
	県・国	広域道路の整備促進											

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
アクセス道路	県 約7億円	勝山インター線									
	県 約4億円	国道416号 大日峠道路									
	県 約3億円	国道157号									
	県・大野市 約35億円	重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備									
	県・勝山市 約5億円	重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備									
産業基盤	大野市 約13億円	大野市富田産業団地の整備									
	勝山市 約2.5億円							重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」エリア への企業誘致			



# 1-4 (1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備

主体	県・市	場所	大野市ほか
事業費	約71億円～	期間	～2021

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特用林産物生産・加工施設の整備 (大野市、～2015)</li> <li>・勝山インター線の整備 (県、～2016)</li> <li>・国道157号大野バイパスの整備 (県、～2016)</li> <li>・国道416号大日峠道路の整備 (県、～2018)</li> <li>・大野市富田産業団地の整備 (大野市、～2020)</li> <li>・重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備 (県・大野市、～2020)</li> <li>・重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備 (県・勝山市、～2020)</li> <li>・株式会社モンベルとの包括連携協定締結 (県・民間、2020)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅「恐竜渓谷かつやま」エリアへの企業誘致 (勝山市・民間、2022～)</li> </ul>	

中部縦貫自動車道県内全線開通により、奥越は中京・東海エリアとの交流のフロンティアになります。

この効果を地域産業の発展や観光誘客につなげるため、各ICから周辺観光地等へのアクセス道路および重点道の駅を整備します。あわせて、IC周辺において地域内への周遊滞在の拠点エリアの整備を進めます。

重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」(大野市)



重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」(勝山市)



・宿泊施設、飲食施設(予定)

・イチゴハウス

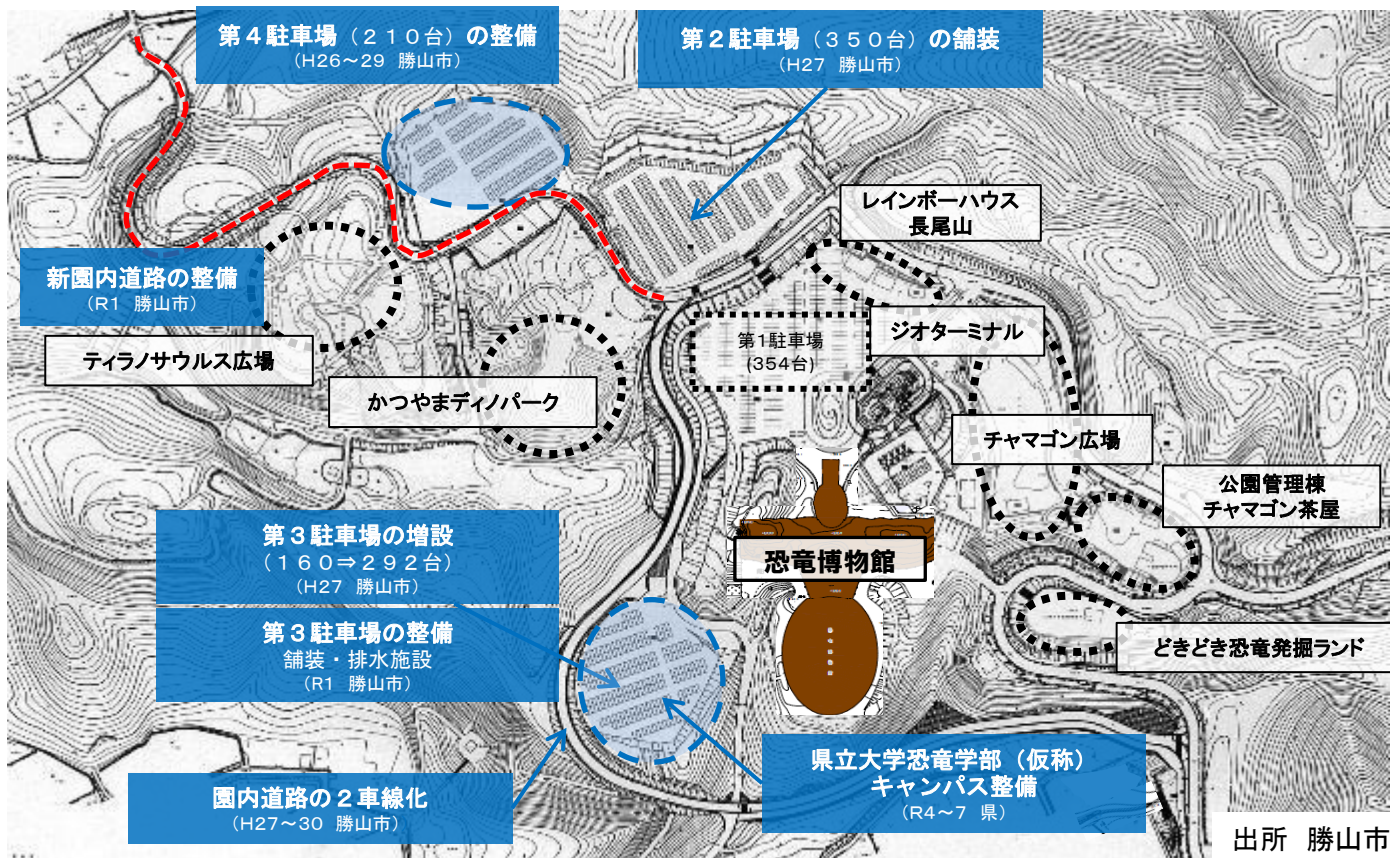


# 1-4 (2) ダイナソーバレーリゾートの形成

主 体	県・勝山市・民間	場 所	勝山市等
事業費	未定	期 間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外恐竜博物館の整備(県、2014)</li> <li>・ディノパークの整備(市、2015)</li> <li>・ジオターミナルの整備(市、2017)</li> <li>・新たな恐竜実物全身骨格等の展示(県、2015~2017)</li> <li>・映画を活用した「福井の恐竜」の発信(県、2018)</li> <li>・駐車場増設等の渋滞対策(市、2015~2019)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恐竜化石の発掘調査(県、1989~)</li> <li>・恐竜博物館の機能強化(県、2020~)</li> <li>・長尾山総合公園におけるPark-PFI事業者による公募対象公園施設の整備(市・民間、2020~)</li> <li>・県立大学恐竜学部(仮称)の開設(県、2022~)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長尾山総合公園における、Park-PFI実施事業者による公募対象公園施設の管理運営と、指定管理者としての公園全体管理運営の一元化</li> </ul>

本県のキラコンテンツである恐竜博物館を中心とした長尾山総合公園全体の魅力向上に向けて、恐竜博物館の機能強化や公園全体の再整備を実施します。



- 2023年度実施事業【福井県】
  - ・恐竜博物館の機能強化(後掲P39)
  - ・県立大学恐竜学部(仮称)の開設に向けた実施設計(恐竜学部(仮称)開設事業 83,309千円)
- 2023年度実施事業【勝山市】
  - ・長尾山総合公園再整備・管理運営事業

## 県立大学恐竜学部の開設

名称:恐竜学部 恐竜・地質学科(仮称)  
 開設:令和7年4月  
 定員:30名



イメージ

# ダイナソーバレーリゾートの形成〔恐竜博物館の機能強化〕

主体	県	場所	勝山市
事業費	約94億円	期間	～2023頃

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
	・恐竜博物館の機能強化(県、2020～)	

恐竜博物館の「オールシーズン体験可能な博物館にフルモデルチェンジ」をコンセプトに、博物館を機能強化し、世界に誇る恐竜化石の研究・情報発信の拠点として、未来に続く博物館を目指します。

恐竜博物館の機能強化(整備)イメージ



○ 2023年度実施事業【福井県】  
 ・恐竜博物館の機能強化  
 (整備工事等 3,853,335千円)  
 継続費 8,487,704千円(2021～2023年度)

### <機能強化内容>

- ・収蔵庫の増設
- ・ショップ・レストランの拡充
- ・特別展示室
- ・案内やシアターの多言語化
- ・化石研究体験スペース
- ・多目的ホール

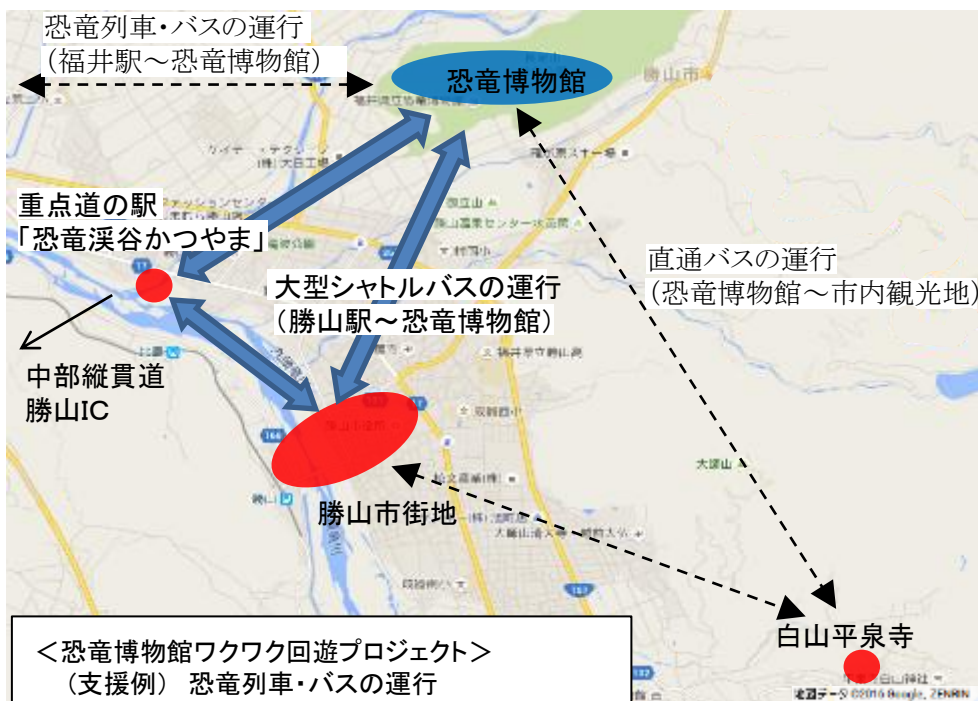


# ダイナソーバレーリゾートの形成〔恐竜博物館からの誘客〕

主体	県・勝山市・民間	場所	勝山市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山駅前整備(県、2011)</li> <li>・電気機関車テキ6展示施設の整備(市、2013)</li> <li>・旧料亭花月楼の再生(市・民間、2016)</li> <li>・個店の改修等への支援(県・市、～2016)</li> <li>・重文旧木下家住宅の保存修理(県・市、2019～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山駅～恐竜博物館間の直通バス等の拡充(市・民間、2016～)</li> <li>・福井駅からの恐竜バス・列車の運行、ホテル(恐竜ルーム等)の改修等(県・民間、2020～)</li> <li>・恐竜のモニュメント設置(県・市町、2020～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重文旧木下家住宅の一般公開(県・市、2019～)</li> </ul>

恐竜博物館(ジオターミナル)、まちなか(旬菜食祭花月楼)、重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」を3拠点として、恐竜博物館来館者等の周遊を拡大します。



恐竜ルームの設置



花月楼



恐竜のモニュメント(イメージ)



- 2023年度実施事業【福井県】
  - ・博物館来館者の回遊・宿泊を促進するための取組みを支援  
(恐竜博物館ワクワク回遊プロジェクト 60,949千円)
- 2023年度実施事業【勝山市】
  - ・博物館来館者の市内観光地への誘客  
(ジオターミナル管理事業 12,028千円)  
(道の駅管理事業 17,900千円)



勝山駅前の整備

出所:「おもてなし商業エリア創出プラン「ハード整備等」(詳細版)」(勝山市)、勝山市ホームページ(一部、県加工)

# I-4 (3) 白山平泉寺および越前禅定道の再生

主体	県・市	場所	勝山市
事業費	約0.7億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」の整備(市、2012)</li> <li>・東尋坊跡や土蔵周辺の広場整備(市、2014)</li> <li>・一乗谷・白山平泉寺の日本遺産認定(再掲、県・福井市・勝山市、2019)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・越前禅定道の再整備(県、終了時期未定)</li> </ul>

中世の宗教都市であった平泉寺地区の景観および散策環境を整備。併せて、福井県側から白山登山ルートへとつながる越前禅定道について、老朽化した階段等の補修や不通区間の解消を進めます。



出所 「白山平泉寺全国発信プロジェクト」(勝山市)、勝山市ホームページ

平泉寺周辺の整備



○ 2023年度実施事業【福井県】  
ガイド育成  
(ふくいの日本遺産活用促進事業 4,300千円)



まほろばの整備



交流拠点の整備

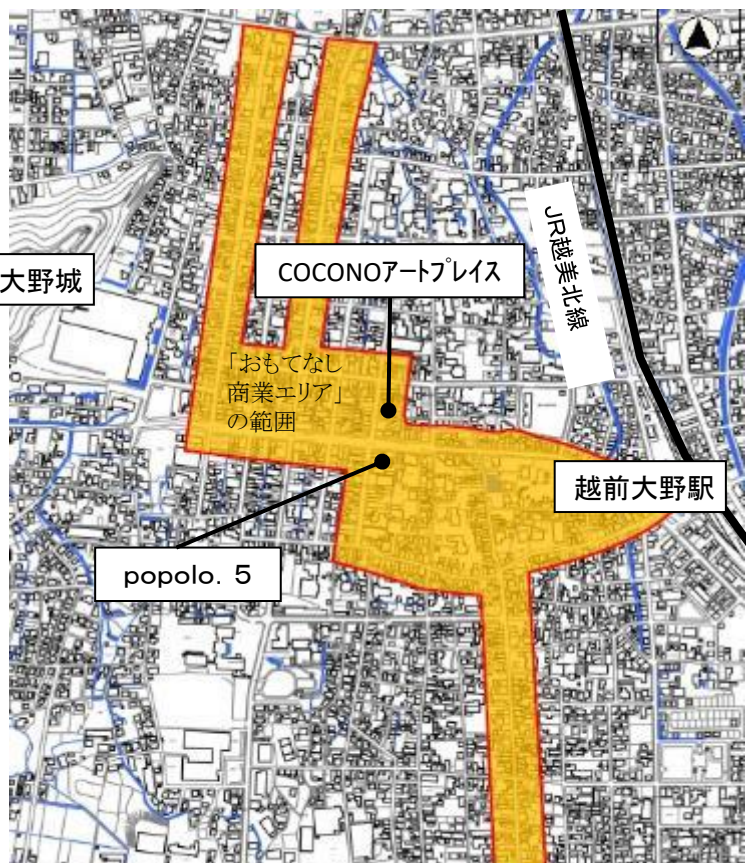


# 1-4 (4) 歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生

主体	大野市・民間	場所	大野市
事業費	約4億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・城下町南広場の整備(市、2015)</li> <li>・個店の改修等への支援(県・市、～2016)</li> <li>・古民家ギャラリー「COCONOアートプレイス」の整備(市、～2017)</li> <li>・popolo. 5の整備(民間、2017)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客受入環境の整備(県・市、2021～)</li> <li>・越前大野城の城内装飾(市、2022～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武家屋敷旧内山家(夏障子、冬の絵障子設置)武家屋敷旧田村家(風車設置)、御清水提灯ライトアップ、越前おおの結楽座手ぬぐい回廊等による魅力向上</li> <li>・結ステーションの再整備</li> </ul>

歴史あるまちなみの整備に加え、民間事業者による商業基盤施設や歴史的魅力を活かした店舗づくりなどを支援することにより、活気に満ちた越前おおの城下町を再生します。



古民家を活用した市民所有絵画の展示



COCONOアートプレイス

歴史的建造物の保存整備



武家屋敷 旧田村家屋敷

- 2023年度実施事業【福井県】
  - ・まちなか商店街などの集客力向上に対する支援(商店街等集客力向上支援事業 17,692千円の内数)
  - ・(商店街等空き店舗対策支援事業30,373千円の内数)
- 2023年度実施事業【大野市】
  - ・観光客向け店舗改修等への支援、COCONOアートプレイスを拠点とした文化・芸術の発信等(COCONOアートプレイス管理運営経費 13,708千円)
  - ・まちなか商店街などの集客力向上に対する支援(商店街等集客力向上支援事業 1,500千円)

商店街の核施設の整備



popolo. 5の整備(民間)

# 1-4 (5) 六呂師高原の活性化

主体	県・大野市	場所	大野市他
事業費	約3億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>六呂師高原スキー体験施設の整備(県、～2017)</li> <li>うらら館の再整備(市、2016)</li> <li>ミルク工房奥越前の機能向上(県、2017)</li> <li>六呂師高原活性化構想の策定(県、市、2021)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>星空コンテンツの開発(市、2018～)</li> <li>星空保護区認定に向けた条件整備(県、市、2020～)</li> <li>六呂師高原開発計画策定(県、市、2022～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然保護センターの魅力向上</li> <li>南六呂師区における星空保護区の認定後のフォローアップ</li> <li>六呂師高原の開発・運営</li> </ul>

奥越の周遊観光拠点として、六呂師高原の自然資源を活かした誘客策の検討、高原内の施設のレベルアップ等を図り、中部縦貫自動車道県内全線開通効果の最大化と地域の活性化を図ります。



○ 2023年度実施事業【福井県】  
 ・六呂師高原スキー体験施設の解体工事、妻平ヒュッテ、ハイランドホテルの解体設計 等  
 (六呂師高原活性化事業 75,279千円)

○ 六呂師高原活性化構想(県・市・民間)  
 <コンセプト>  
 アウトドアを軸とした誰もが自然を楽しめる山岳高原エリア  
 <六呂師高原における取組み>  
 ・六呂師高原固有の自然景観の改善  
 ・誘客の柱となる拠点施設の整備・施設のリニューアル  
 オートキャンプ場、コテージ等  
 ・アウトドア・アクティビティの造成・既存施設の利活用

○ 日本一美しい星空の観光活用(市)  
 2005年に環境省・日本環境協会が実施した全国星空継続観察により、日本一美しい星空にも選ばれた星空を活用し、地域の活性化を図る  
 ・星空保護区認定によるブランド力向上  
 ・四季を通じた六呂師ならではの星空コンテンツの開発による誘客力強化



# I-4(6) 化石資源の活用

主体	県・大野市	場所	大野市他
事業費	約0.4億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>大野市和泉地区化石保全活用計画策定(市、2013)</li> <li>平成の湯の再整備(県・市、2014)</li> <li>化石発掘体験センターHOROSSA!の整備(市、2017)</li> <li>恐竜トリックアート、恐竜モニュメントの制作(県・市、~2022)</li> <li>恐竜トリックアート設置や展示室の改修など和泉郷土資料館のリニューアル(国・市、2022)</li> <li>国民宿舎パークホテル九頭竜の恐竜化石客室の整備(県、市、2022)</li> <li>九頭竜湖駅を化石をテーマに装飾(県・市、2022)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和泉エリアにある恐竜化石や九頭竜湖などに加え、山の幸などの素材を満喫できるツアーの造成(県・市、2023)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者による和泉エリアで恐竜化石を満喫できるツアーの造成と観光商品(食、土産品)の開発</li> </ul>

和泉エリアの化石産出地としての認知度及び魅力度向上に向け、民間事業者や地元団体と連携し様々な事業に取り組み、中部縦貫自動車道県内全線の開通効果の最大化と地域の活性化を図ります。



## ○ 2023年度実施事業【大野市】

- 和泉エリアにある恐竜化石や九頭竜湖などに加え、山の幸などの素材を満喫できるツアーの造成(恐竜・化石魅力向上事業 1,030千円)

